



Well-Being人材育成プログラム（OASIS） 市長報告会

2023年10月23日

Digital Smart City HAMAMATSU



【チームB（事業創造）】

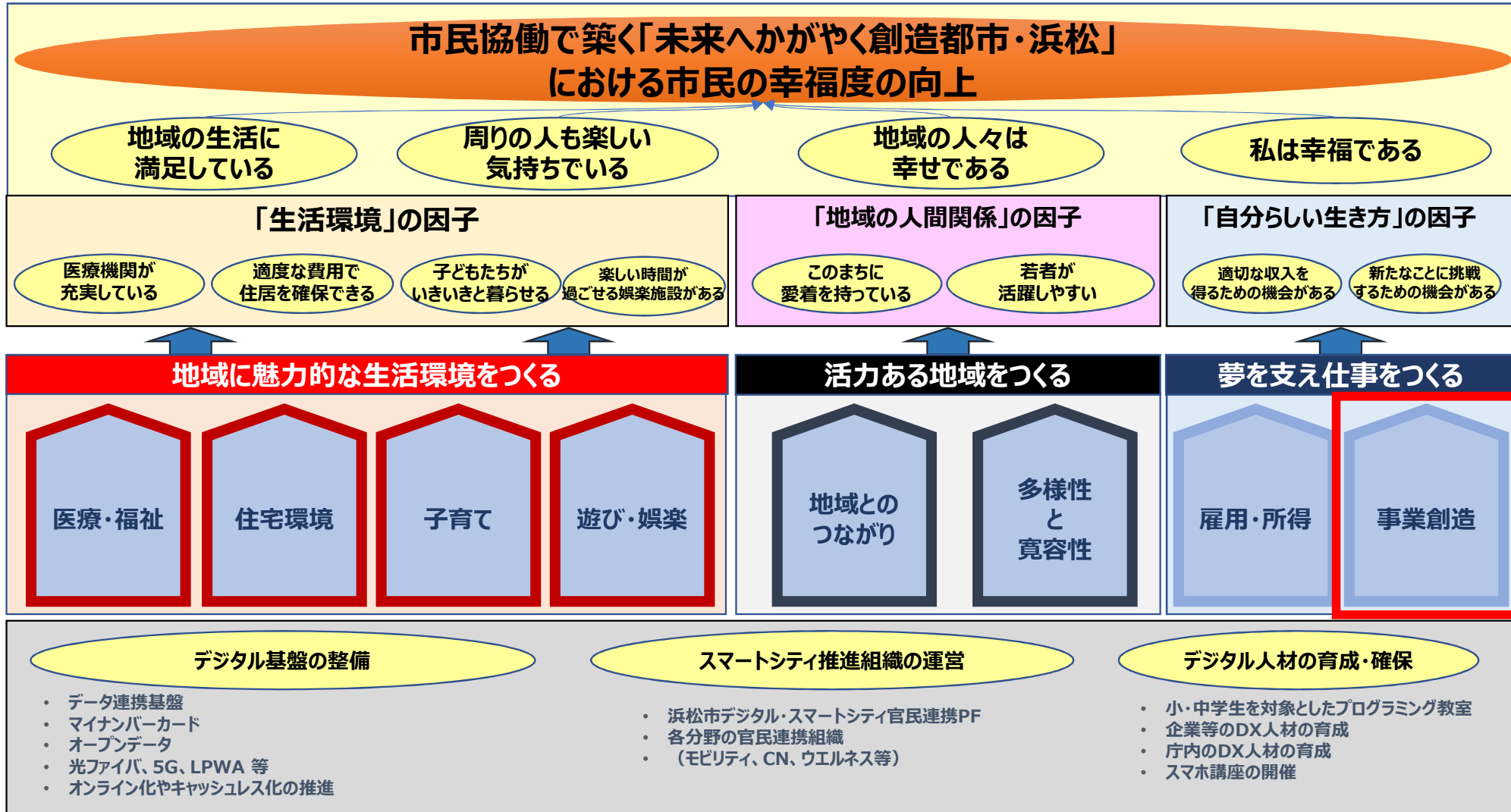
企画課	河野 和世
次世代育成課	園田 俊士
スタートアップ推進課	米村 仁志
カーボンニュートラル 推進事業本部	鈴木 久仁厚



ウェルビーイング・インパクトの視点

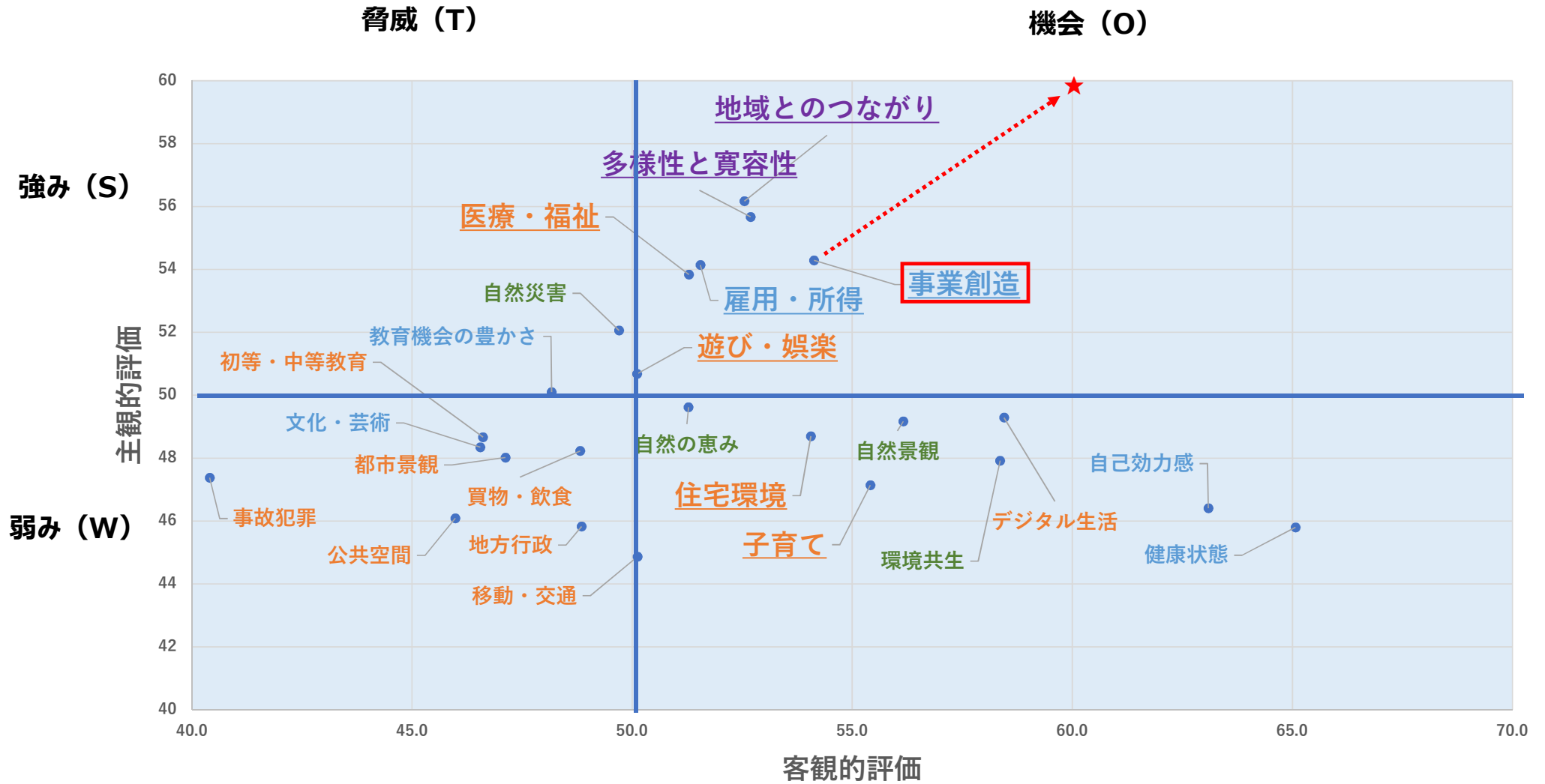
政策の視点

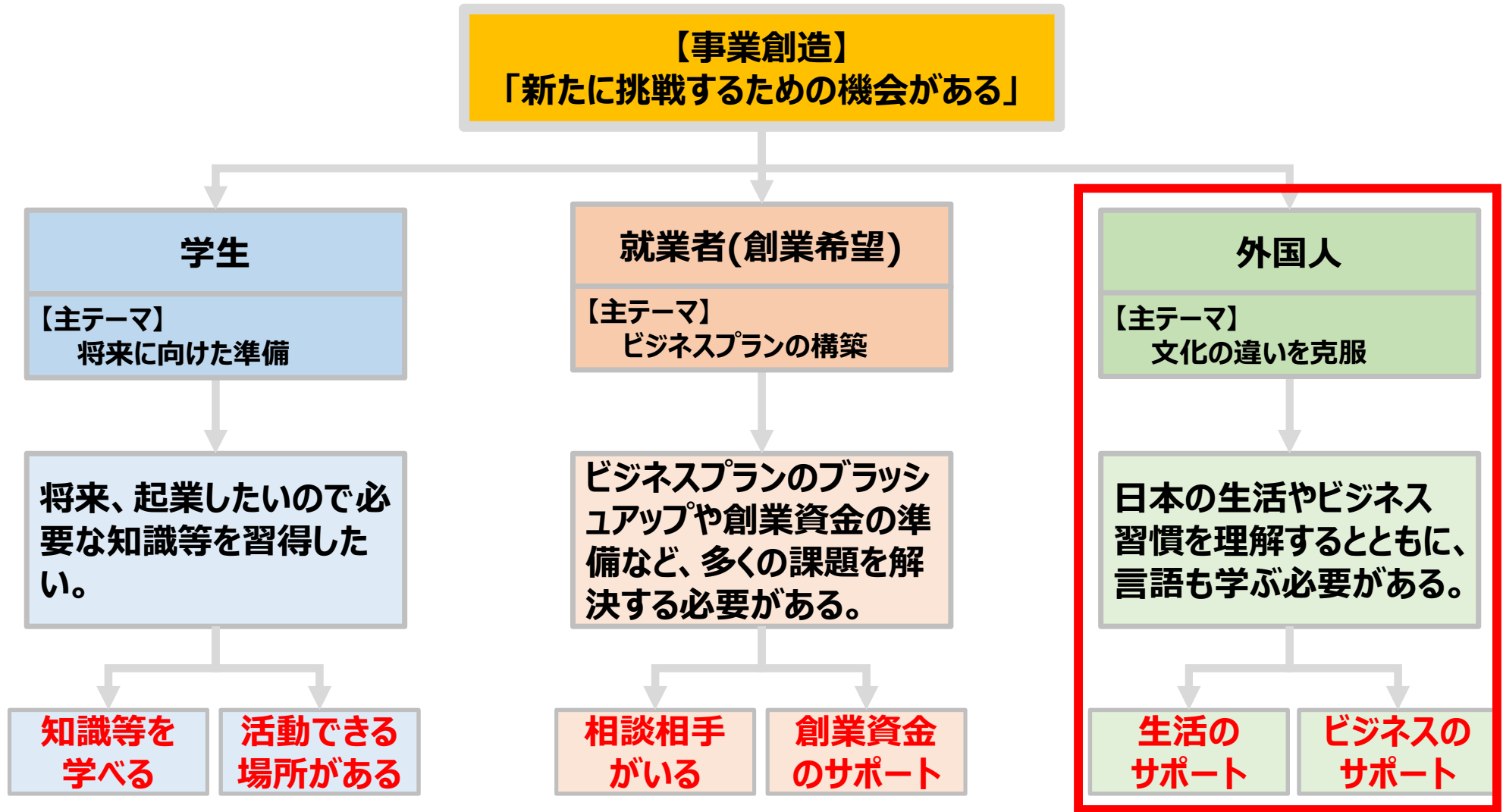
デジタルと人の共創基盤の視点



主観的評価と客観的評価のSWOT分析

チームB





【事業創造】新たに挑戦するための機会がある

【ペルソナ】外国人（20～50代のインド人）

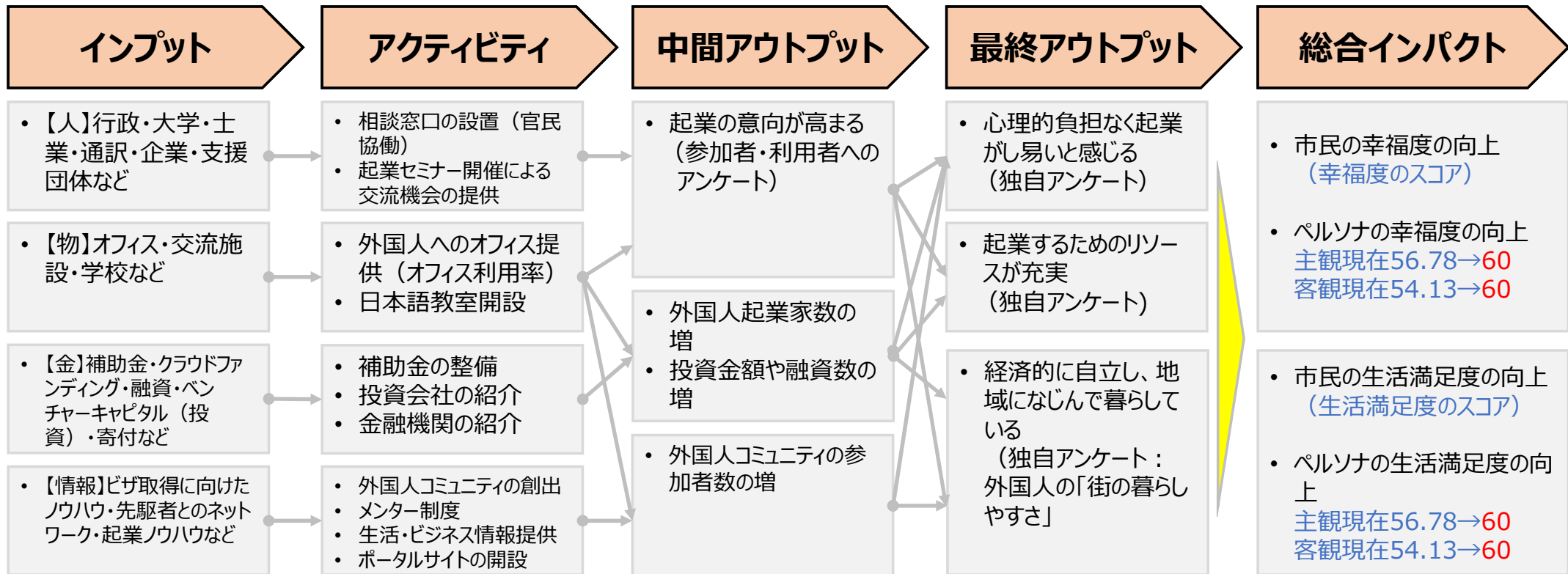
チームB

現
状

- 日本の生活やビジネス習慣を理解するとともに、言語も学ぶ必要がある。

将
来
像

- 浜松市に多くの外国人が訪れ、大きな負担なく起業が出来る。



【属性データ】

- 性別
- 国籍
- 年齢層
- 居住地区
- 居住年数
- 家族構成
- 職業
- その他属性

【ウェルビーイングデータ】

- 主観データ
 - ・ ファーストレイヤー
 - ・ セカンドレイヤー
- 客観データ
 - ・ ファーストレイヤー
 - ・ セカンドレイヤー

X

X

【分析枠組み・指標】

- 階層型 + α
 - ・ 相関分析
 - ・ 因子分析
 - ・ 回帰分析
 - ・ レーダーチャート
 - ・ 主観×客観
 - ジックツリー
 - ジックモデル

⇒

【分析結果】

- 自治体全体
 - ・ 幸福度
 - ・ 生活満足度
- セグメント・ペルソナ別
 - ・ 幸福度
 - ・ 生活満足度

【イメージ図： ウェルビーイング指標活用プロセス】

【市民参加】

- ワークショップ
・官民ワークショップ
※Decidim活用
- イベント
- 市民アンケート
- ウェルビーイング・アワード

【人材育成】

- 庁内研修
・管理職向け
・中堅職員向け
- X □ 市民研修・セミナー
- 出前講座

【報告・モニタリング】

- 市民向けダッシュボード
- 推進本部会議
- X □ 官民連携PF運営委員会
- 市HP

【市独自の質問項目として追加すべきもの】

- 「地域の人たちと交流しているか」
- 「性別や国籍に関係なくビジネスができる環境があるか」

【市独自の客観指標として追加すべきもの】

- 起業数 (うち外国人による起業数)
- スタートアップの売上高
- 浜松市外国人材活躍宣言事業所数

【アペンディックス資料】

- エグゼクティブサマリー
- 地域幸福度（Well-Being）指標 ダッシュボード 浜松市の特徴

【浜松市が市民のウェルビーイング向上の観点から目指すべき都市像】 統合マップ

- 一層魅力ある地域の生活環境と自分らしい生き方を実現できる地域社会を市民協働で育み、様々なバックボーンを持つ人たちが満足し自己肯定感をもてる多様性と寛容性のある都市
- 人口減少・高齢化による生産年齢人口の減少に伴い、地域経済の縮小が懸念される。就労・起業活動の支援を通じて、地域社会の一員として外国人を迎え、地域経済の底上げと市全体のウェルビーイング向上を図る。

【選択した8つの政策領域について】 統合マップ

- 客観因子の自己効力感が高いが、主観因子で見ると、20～50歳台の自己効力感が他の年代と比較して低い現状があり、自分らしい生き方を支えるため、仕事が重要である。【事業創造】【雇用・所得】
- 市の方針としても、「しごと、ひと、まち」の創生が一丁目一番地。
- 「ひと」は、子育てがしやすい環境と捉え、【住宅環境】や【子育て】、【医療・福祉】、【遊びや娯楽】、「まち」は、【地域との繋がり】や【多様性と寛容性】を選択した。
- なお、人口が減少する中では、ペルソナ（市民像）を考える際、視野を外国人にも広げることが重要。【地域との繋がり】や【多様性と寛容性】は多文化共生へ。
- 「しごと」は「ひと」を定着させ、「まち」をつくる基本であるため、事業創造を選択。

【想定したペルソナの説明】 ペルソナ・ロジックツリー

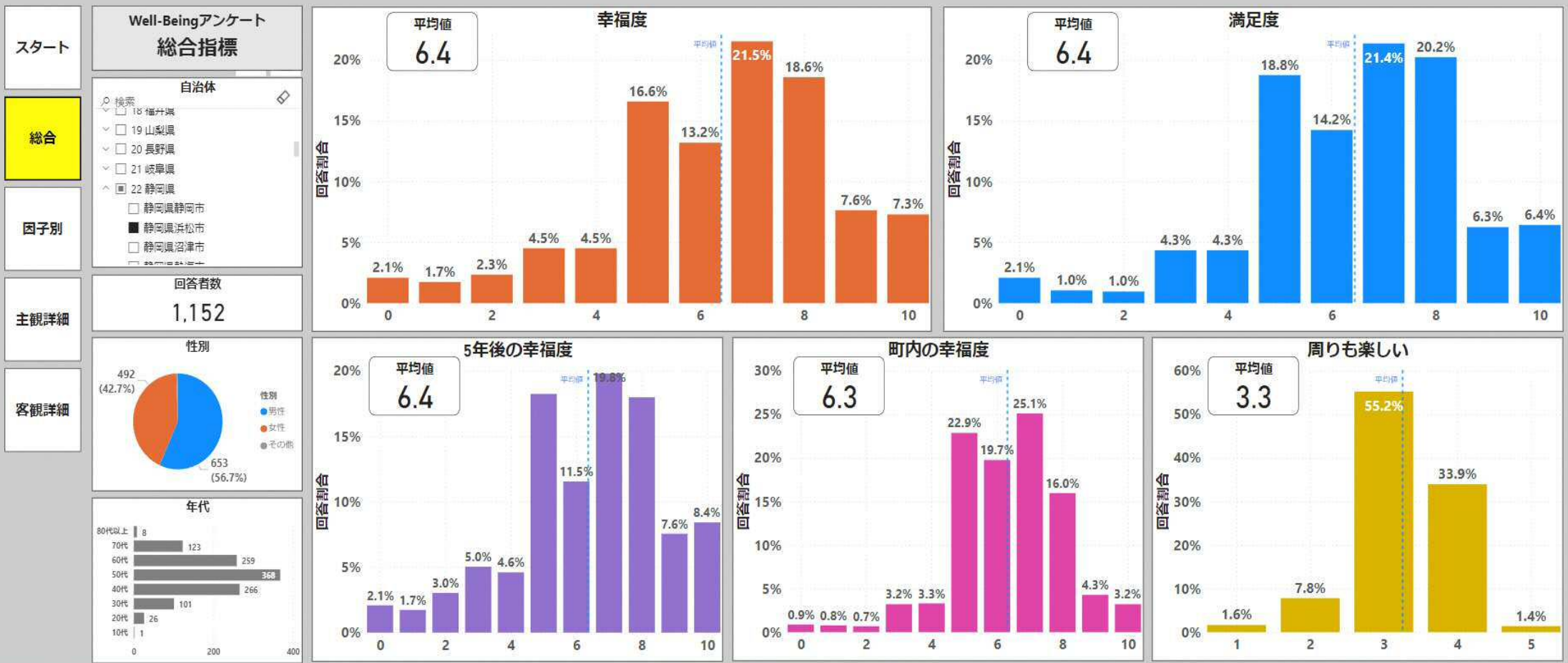
- 人口減少が進む中で、外国人は今後欠かすことのできないパートナーであり、「未来へかがやく創造都市・浜松」を構築するためには、多様性と寛容性が求められる。
中でもインドは、日本と安定した国家関係を持っており、多数のスタートアップが毎年誕生、世界2位の人口、旺盛な起業家精神、IT人材の豊富さ、キャリアの選択肢として日本を志向する人が多いなどの理由から「インド人」をペルソナに設定。

【ロジックモデルの説明】 ロジックモデル

- 本市に多くの外国人が訪れ、大きな負担なく起業ができるようにすることを将来像に設定。
- 相談窓口の設置やオフィスの提供、助成金制度の整備などを通じて、最終的に起業した外国人が暮らしやすいまちづくりを実現できているかについて、測る。

【浜松市幸福度指標システムの説明】 浜松市幸福度指標システム

- 主観：地域の人たちと交流しているか、性別や国籍に関係なくビジネスができる環境があるか、客観：外国人による起業数等の本市が目指す将来像に合った独自指標を増やし、相関関係、因果関係などの分析により確認していく。



Well-Beingアンケート 因子別

スタート

総合

因子別

主観詳細

客観詳細

自治体

検索

- 01 北海道
- 02 青森県
- 03 岩手県
- 04 宮城県
- 05 秋田県
- 06 山形県
- 07 福島県
- 08 茨城県
- 09 栃木県
- 10 群馬県
- 11 埼玉県
- 12 千葉県

回答者数 **1,152**

性別

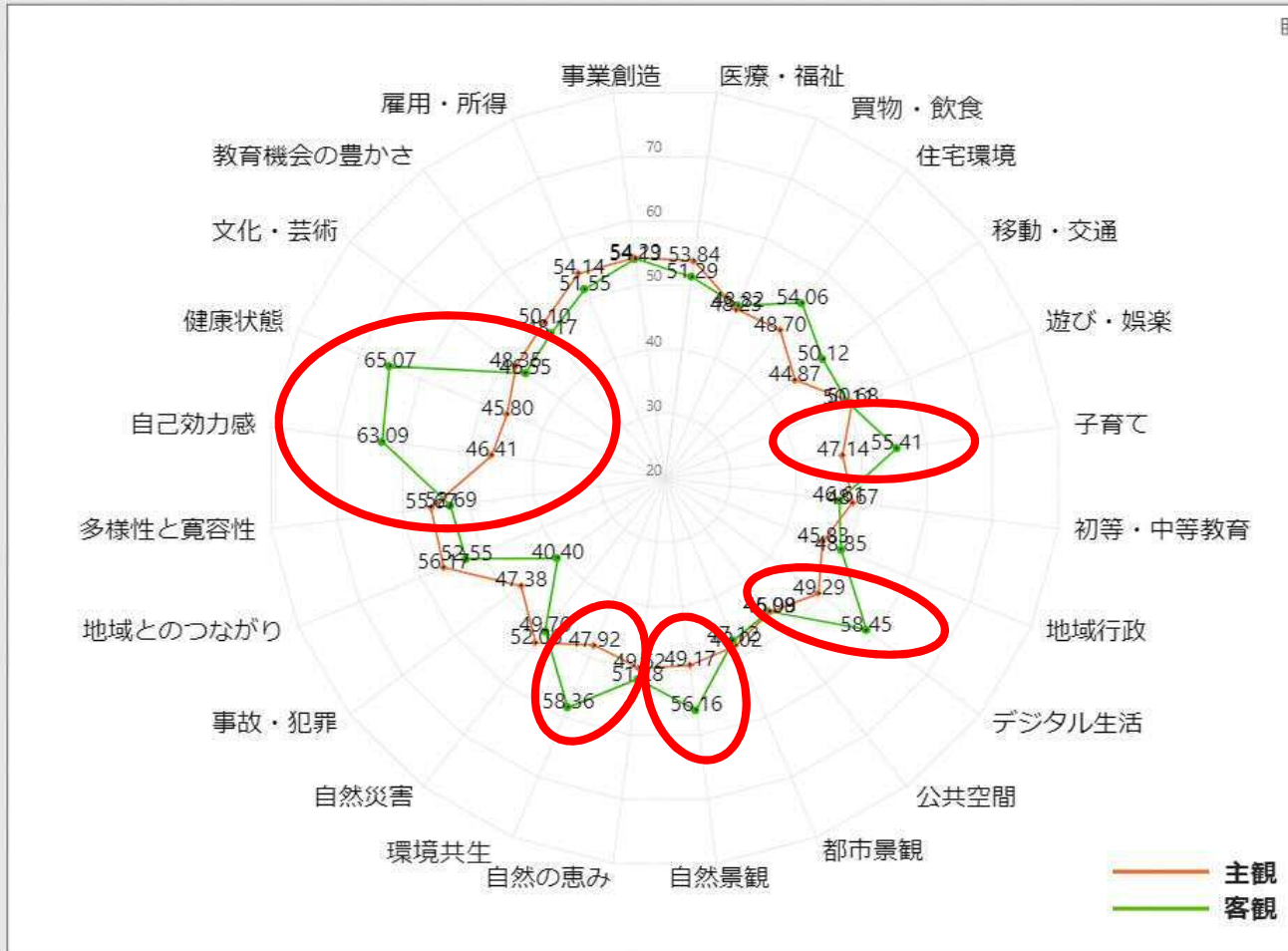
492 (42.7%) 男性

653 (56.7%) 女性

その他

年代

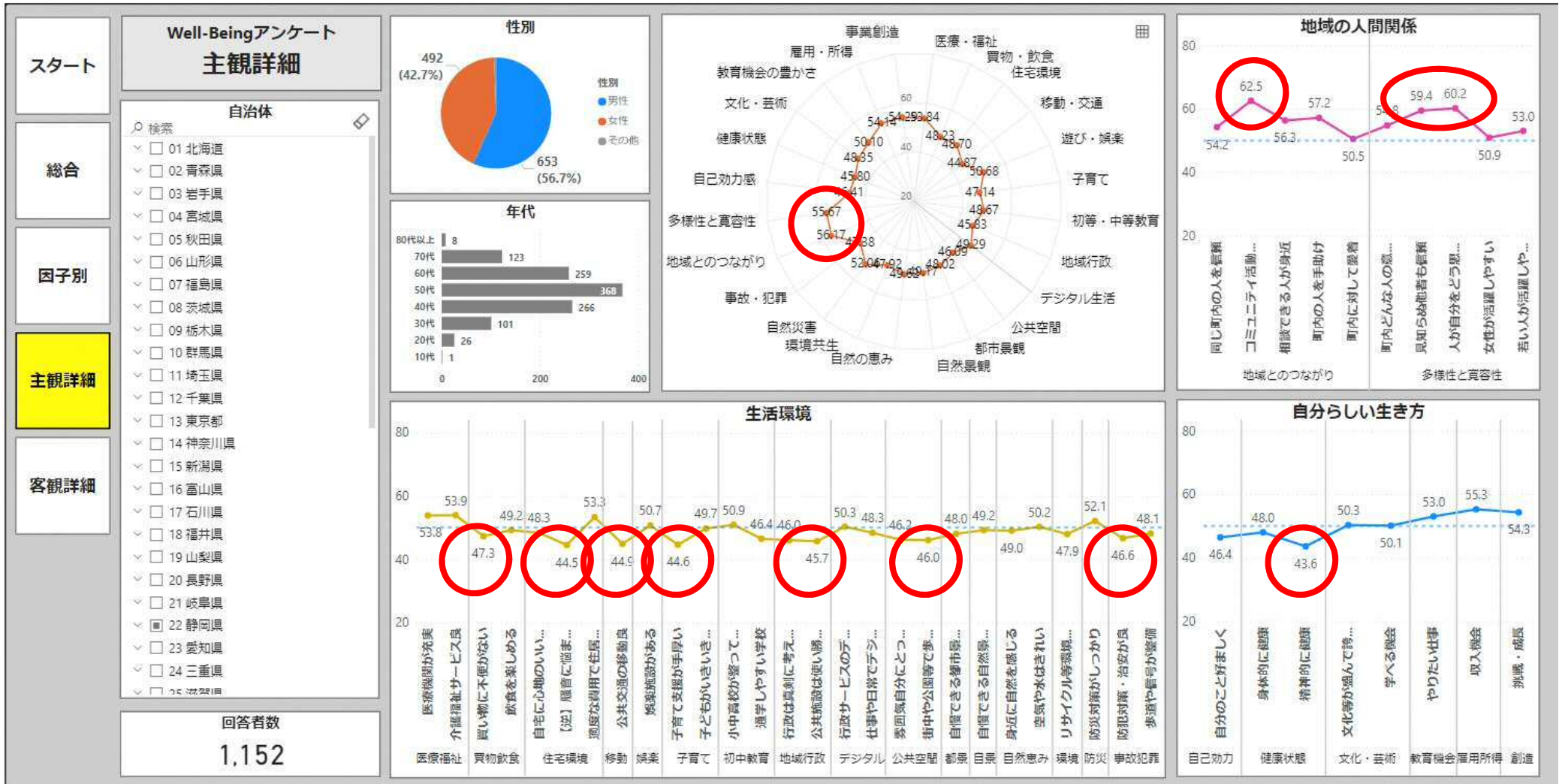
80代以上	8
70代	123
60代	259
50代	368
40代	266
30代	101
20代	26
10代	1



因子	主観	客観
医療・福祉	53.84	51.29
買物・飲食	48.23	48.82
住宅環境	48.70	54.06
移動・交通	44.87	50.12
遊び・娯楽	50.68	50.11
子育て	47.14	55.41
初等・中等教育	48.67	46.61
地域行政	45.83	48.85
デジタル生活	49.29	58.45
公共空間	46.09	45.98
都市景観	48.02	47.12
自然景観	49.17	56.16
自然の恵み	49.62	51.28
環境共生	47.92	58.36
自然災害	52.06	49.70
事故・犯罪	47.38	40.40
地域とのつながり	56.17	52.55
多様性と寛容性	55.67	52.69
自己効力感	46.41	63.09
健康状態	45.80	65.07
文化・芸術	48.35	46.55
教育機会の豊かさ	50.10	48.17
雇用・所得	54.14	51.55
事業創造	54.29	54.13

<客観データに関する注意>
 本ツールの仕様上、**客観データは単一の基礎自治体を選択した時のみ正確な値が表示されます。**左上の自治体パネルにて、何も選択していない状態 (=全ての自治体を選んでいる状態と同じ) や都道府県を選んでいる状態も同様に、客観データに限り不正確な値が表示されます。都道府県単位の正確な値を知りたい場合は都道府県版のダッシュボードをご利用ください。

【因子別】全体



【主観詳細】 全体

スタート

総合

因子別

主観詳細

客観詳細

Well-Beingアンケート 客観

自治体

- 検索
- 01 北海道
- 02 青森県
- 03 岩手県
- 04 宮城県
- 05 秋田県
- 06 山形県
- 07 福島県
- 08 茨城県
- 09 栃木県
- 10 群馬県
- 11 埼玉県
- 12 千葉県
- 13 東京都
- 14 神奈川県
- 15 新潟県
- 16 富山県
- 17 石川県
- 18 福井県
- 19 山梨県
- 20 長野県
- 21 岐阜県
- 22 静岡県
 - 静岡県静岡市
 - 静岡県浜松市
 - 静岡県沼津市
 - 静岡県熱海市
 - 静岡県川原町市
 - 静岡県静岡市
 - 静岡県掛川市
 - 静岡県豊田市
 - 静岡県富士市

